

おいしい山形

漁民と手をつなぐ広報誌

No. **347**

令和元年 / **7** 月号

山形県漁業協同組合
広報誌



「浜の活力」で 山形を盛り上げよう!

知事と漁業者との意見交換会開催!

7月6日(土)おいしい魚加工支援ラボ(鶴岡市加茂)にて吉村美栄子山形県知事と県内の漁業関係者との意見交換会が行われました。当日は、山形県漁協の飯塚理事がスルメイカを醤油につけた一夜干しを振る舞う一場面もありました。「おいしい!これは売れそう!」と明るい知事の声が上がり、和やかなムードの中、活発な意見交換が行われました。

意見交換会の内容は、本紙9ページに記載しています。

第54回 通常総代会開催



べられました。
次に、温海地区の榎本敏明氏が議長に選出され、第1号議案の平成30年度事業報告及び損失処理案の承認に関する件、第2号議案の令和元年度事業計画の設定に関する件、第3号議案の第6次中期経営改善計画修正計画の設定に関する件から第8号議案の役員報酬の支給に関する件まで、8議案が審議され、いずれも可決承認されました。

第54回通常総代会は、6月25日(火)午前10時より本所講堂において、総代97名(内11名が委任出席)の出席と、多数の来賓の方々のご臨席のもとに開催されました。
冒頭、本間組合長が挨拶を行い、続いて来賓として吉村美栄子山形県知事(鈴木 仁山形県庄内総合支庁産業経済部長代読)、丸山至酒田市長、時田博機遊佐町長、宮治仁志農林中央金庫山形支店長がそれぞれ祝辞を述べられました。

平成30年度の事業概況

平成30年度の本県漁業については、沖合・沿岸ともに総じて資源状況が極度に悪化し、水揚金額は、前年対比4億30百万円大幅減の27億4百万円に留まりました。水揚の大幅減少は経済各事業に大きな影響を及ぼし、第6次中期経営改善計画の初年度として、事業の推進と諸課題の解決に取り組んだところでありますが、残念ながら年間を通して厳しい経営内容で推移しました。

平成30年度の当組合の収支実績については、信用事業をはじめ購買事業・販売事業・製氷事業等の主要な事業が大幅な減益となったことで事業総利益は大幅に減少しました。一方で、事業管理費の削減に努めましたが、事業総利益から事業管理費を差し引いた事業利益は△32百万円となり、最終的に25百万円の当期損失金を計上する結果となりました。

2期連続の最終赤字を真摯に受け止め、当組合が将来にわたり持続できる協同組合組織として事業を継続していくために、確実に組合全体の収支を黒字化できるように、計画的な内部留保による財務基盤の強化に努めて参る所存であります。

今後とも、役員員一致団結して経営改善に努めて参りますので、組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な事業活動と成果については下記のとおりです。



① 信用事業

貯金業務については、計画目標を51億円とし、本年度も「全国統一キャンペーン」等の運動を展開しながら貯金残高の維持・確保を図ってまいりましたが、沿岸漁業の水揚不振や国の制度を利用した設備投資に関連する自己資金分の流出も相まって、個人貯金の減少に歯止めがかかりませんでした。最終的に年度末残高は51億61百万円、平均残高では52億10百万円となり計画対比101・2%となりました。

貸出業務については、計画目標を6億54百万円として融資仲長に努めましたが、年度末残高は6億27百万円となり計画対比95・7%という結果となりました。なお、貯貸率は12・1%となり前年対比1・3%上回りました。
その結果、信用事業総利益は24百万円となり、前年度に対し90・2%の実

② 共済事業

績率、計画に対し79・2%の達成率となりました。

長期共済新規契約高は「チョコー」が13億1百万円、「くらし」が4億5百万円となりました。しかしながら、組合員の高齢化等により新規・満期更新が厳しく、主要商品である「チョコー」の保有伸長率は前年対比91・1%と低迷しました。また、「くらし」の伸長率は制度改正による契約高が増加し、101・9%となっております。短期共済新規契約高は「カサイ」が57億38百万円、「ノリコー」が10億19百万円となり、それぞれ計画に達するに至らず78・3、81・9%の実績となりました。

依然として総体的には保有率が減少していること、さらには長期共済について計画達成が年度末に偏ったこと等が影響し、共済事業総利益は12百万円となり、前年度に対して102・0%の実績率、計画に対しては89・5%の達成率となりました。

③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、漁業用は大幅に減少しましたが、企業向け及び酒田北港浚渫工事船への員外供給が順調に推移し、前年実績とほぼ同じ実績となりました。

軽油については、漁船用においてA重油から油種転換する漁船が増加したことにより、前年対比127・6%となりました。灯油については、暖冬の影響により個人向けは減少しましたが、企

業向けは増加し、前年実績とほぼ同じとなりました。また、潤滑油については、前年対比101・2%の実績となりました。これにより石油類全体での供給数量は、前年対比101・3%という結果となりました。

魚箱類の取扱量については、生鮮魚介類の漁獲量の大幅減（前年比407トン減）により、前年対比96・4%の実績となりました。

一般資材類の取扱高については、国の補助事業や制度資金と連動した船用機器の購買扱いがあったことにより、前年対比122・5%の実績となりました。その結果、購買事業総利益は1億70百万円となり、前年度に対し101・2%の実績率、計画に対しては93・0%の達成率となりました。

④ 販売事業

今年度の本県漁業は、主要漁業であるいか釣り漁業が前年度に引き続き振るわず、小型いか釣り漁業については本県沖に漁場形成されなかったことが影響し、数量で前年比1万8千ケース減少、水揚金額は2億60百万円にとどまりました。また、中型いか釣り漁業の水揚金額は前年対比で1億52百万円、数量で340トンそれぞれ減少し8億98百万円となりました。

一方、地先沿岸漁業においては、底曳網漁業が延べ隻数で前年比130隻増加となるも、ハタハタをはじめとする主要魚種の漁獲量減少により、数量で前年対比95%に落ち込み、水揚金額も前年比90%の7億64百万円に終わりました。定置網漁業においてはサケ、ワラサ、

イナダの大幅な漁獲減少により、水揚金額で前年対比1億5百万円減の1億74百万円となりました。

この結果、今年度水揚金額は28億円を割り込み、計画対比92%の27億4百万円となりました。

買取販売の鮮魚部門での取り扱い、本県内陸部向けの出荷を中心に消費拡大に努めたほか、低価格魚、未利用魚の有効活用、販売に注力しました。

船凍いかを主とした冷凍品の買取高は、前年対比1億24百万円減の6億74百万円となりました。

その他、魚価向上に関する取組みでは、行政機関と連携し、県内陸地域における庄内産水産物の消費拡大と魚食普及を目的としたプロジェクトに参加し、「庄内浜旬の魚キャンペーン」を春と秋に展開するとともに、ITを活用したタイムリーな水揚、市場情報発信を実施しました。

以上により、販売事業総利益は1億11百万円となり前年度に対し95・0%の実績率、計画に対し83・2%の達成率となりました。

⑤ 製氷冷凍冷蔵事業

小型いか釣り漁業への供給は不振を極め、前年対比91%の供給数量となりました。また、漁場環境の悪化から地元漁業及び定置網漁業等への供給が水揚数量不振のため伸び悩みましたが、今年度より紅ズワイガニ漁への供給を行いました。この結果、数量で前年対比103・4%の4万2千本、供給高では前年対比100%の73百万円となりました。

最終的に製氷冷凍事業総利益は26百

万円となり、前年度に対し99・7%の実績率、計画に対し71・7%の達成率となりました。

⑥ 加工事業

主力の加工向け原料スルメイカが全国的に漁獲量減の中、加工・冷凍販売は前年度対比92%、3百万円減の39百万円であり原料価格が高値推移する中、依然として厳しい状況となりました。

一方で、春先に小型のホッケがまると水揚げされ、給食向け等に提案した結果、前年度対比で15%増の取り扱いが出来ました。

「県漁協直営店庄内海丸」については、対面販売による庄内産水産物のPR活動を好評を博し、昨年度とほぼ同額の38百万円の売上となりました。

その結果、加工事業総利益は9百万円となり、前年度に対し64・2%の実績率、計画に対しては328・2%の達成率となりました。

⑦ 指導事業

県・沿岸市町の協力を得て、各種種苗中間育成及び稚魚・稚貝の放流を実施し、資源の培養と繁殖保護に努めました（放流尾数 アワビ229、300個、ヒラメ138、500尾、サケ195、600尾）。さらには、放流地付近の禁漁区および保護区域の設定により、放流稚魚の保護を図りました。

「浜の活力再生プラン」および「浜の活力再生広域プラン」を継続的に推進しました。そのうえで、水産業競争力強化型機器等導入事業を積極的に活用

し、漁業経営の安定と水産物の安定供給を目指す取り組みを行いました。昨年度に引き続き、緊迫する北朝鮮のミサイル発射問題について、漁業無線局の電波が届かない海域で操業する漁船との連絡手段の確保のため、県の支援を得て船舶衛星電話の設置に取組みました。

外国人漁業研修制度について、当組合が受入機関となり研修生の受け入れに継続して取り組みました。中型いか釣り漁船や定置網漁船で実習中のインドネシア研修生を新たに9名受け入れました。

新規漁業者関係事業では、国庫事業による長期研修に独立型2名、雇用型2名が受け入れられ、そのうち2名は研修を継続中です。



平成30年度 水揚表彰



平成30年度 山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
船凍県内中型船	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
船凍県外中型船	50t以上	第85若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
		第38豊清丸	伊野水産(株) 富山県鮭鱒漁協
底曳網ほか	15~20t	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場
	10~15t	萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
		第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
	5~10t	第2漁吉丸	阿部清浩 さかた総合市場
		清徳丸	佐藤清紀 念珠閣総括支所
	5t未満	福傳丸	阿部昌樹 さかた総合市場
		伝栄丸	齋藤和男 加茂出張所
	はえ縄一本釣 刺網ほか	1~3t	海成丸
海皇丸			本間健太郎 念珠閣総括支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
採介藻ほか	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所
鮮いか県内船	10~20t	第18陸丸	池田敏行 さかた総合市場

平成30年度 酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県外	いか釣	50t以上	第85若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
		第38豊清丸	伊野水産(株) 富山県鮭鱒漁協	
	30t未満	輝丸	野呂秀樹 函館漁協	
		あかし丸	伊藤広幸 大間漁協	
県内	船凍いか釣	30t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
		5t以上	第2漁吉丸	阿部清浩 さかた総合市場
	5t未満	福傳丸	阿部昌樹 さかた総合市場	
		5~30t	第18陸丸	池田敏行 さかた総合市場
	5t未満	第21大幸丸	讃岐隆 さかた総合市場	
		第28宝運丸	進藤優一 飛鳥支所	
	地先	3~5t	宝洋丸	進藤十二 さかた総合市場
			金毘羅丸	讃岐利行 飛鳥支所
		3t未満	第5多喜丸	渡部伸二 さかた総合市場
			豊幸丸	佐藤秀樹 飛鳥支所
磯見		寿和丸	渡部和夫 飛鳥支所	

平成30年度 水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県内船	佐藤長悦郎	第38正徳丸
	齋藤春雄	第81金剛丸
	佐藤幸二	第81白山丸
県外船	本間健	第85若潮丸
	太田幸一	第38豊清丸

平成30年度 鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
沖合	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
底曳網	10t以上	萬龍丸	飛塚美和 念珠閣総括支所
		第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
		羽前丸	五十嵐万早樹 念珠閣総括支所
	5~10t	清徳丸	佐藤清紀 念珠閣総括支所
		第2千祥丸	佐藤栄一 由良総括支所
	5t未満	伝栄丸	齋藤和男 加茂出張所
沿岸	3t未満	海成丸	本間金弥 念珠閣総括支所
		海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原昭夫 由良総括支所



理事会情報

令和元年度 第2回 理事会議案
開催日…令和元年5月28日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1) 平成30年度全漁連期末監査の改善指示書について
 - 2) 平成30年度期末監査の報告について
 - 3) 定款の一部変更について
 - 4) 平成30年度貸借対照表・損益計算書及び注記表並びに業務報告書について
 - 5) 第54事業年度通常総代会の提出議案について
 - 6) 令和元年度事業計画(案)について
 - 7) 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
 - 8) 貸付金の審議について
 - 9) 令和元年度資金運用計画(案)について
 - 10) 新規取引先に係る販売掛金と信極度額の設定(案)について
 - 11) 一般財団法人山形県漁船リース協会(仮称)の設立について
 - 12) 平成30年度栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について
 - 13) 第25回参議議員選挙候補者の推薦について
- 【報告事項】
- 1) 平成30年度固定資産減損損失の兆候について
 - 2) 平成30年度自己資本比率の状況について
 - 3) 平成30年度税効果会計の適用について
 - 4) 組合員の加入・脱退について
 - 5) その他

水産関係団体 平成30年度 事業の概要

日本漁船保険組合 山形県支所

日本漁船保険組合は設立3年目を迎え、去る6月17日、東京都千代田区のホテルグランドパレスにて通常総代会を開催し、2018年度事業報告及び決算書、19年度事業計画及び予算書が承認されました。あわせて、役員退任に伴う補欠選挙が行われました。

日本漁船保険組合の役員補欠選挙の結果と、山形県支所の平成30年度事業概要を以下のとおりご報告いたします。

山形県支所は今後もより一層の漁船保険事業の安定と発展、保険サービスの向上を目指して支所の運営を行ってまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

日本漁船保険組合 役員の変動

([]内は旧役職)

- ◆昇任 専務理事 佐藤 由信【常務理事】
- ◆新任 常務理事 吹上 圭一【本所総務部長】
- ◆退任 松田 稔【専務理事】

表1 漁船保険地区別加入実績及び支払実績

支所名	在籍漁船	加入漁船	保険金額	純保険料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念珠関	160隻	146隻	876,150千円	14,087,472円	13件	3,300,510円	23.4%	8.9%
温海	51	52	199,120	3,030,395	14	2,860,669	94.4	26.9
豊浦	74	71	570,800	9,423,282	11	2,000,014	21.2	15.5
由良	68	67	404,230	8,304,299	10	2,784,291	33.5	14.9
加茂	55	42	145,820	2,824,975	4	941,275	33.3	9.5
さかた総合	98	89	948,450	20,644,822	21	9,368,025	45.4	23.6
吹浦	46	33	132,890	2,567,129	3	1,259,317	49.1	9.1
飛鳥	111	83	321,900	6,432,430	22	6,650,660	103.4	26.5
その他	5	3	1,217,000	3,502,340	0	0	0.0	0.0
合計	668	586	4,816,360	70,817,144	98	29,164,761	41.2%	16.7%
前年同期	720	630	4,778,810	72,232,379	102	42,371,004	58.7%	16.2%
前年同期比(%)	92.8%	93.0%	100.8%	98.0%	96.1%	68.8%	70.2%	103.2%

*在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第5ちとせ丸」を含む。

*在籍漁船隻数は、平成31年3月31日現在。加入漁船数は、平成30年4月1日～平成31年3月31日までの累計。

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種類	本年度契約金額		支払保険金		種類	本年度契約金額		支払保険金		
	隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)	
漁船船主責任保険	基本損害	574	298,700,000	6	2,211,968	漁船乗組船主保険	427	355,500	0	0
	乗客損害	83	31,770,000	0	0	漁船積荷保険	3	201,000	0	0
	人命損害	64	210,500	0	0	プレジャーボート責任保険	144	19,520,000	5	421,050

平成30年度 無事故漁船所有者等表彰

水産庁長官表彰

由良総括支所 第八長宝丸 佐藤 昭

日本漁船保険組合会長表彰

温海出張所 鈴木村豊丸 佐藤 優
 温海出張所 第十八兼丸 奥井 兼一
 さかた総合市場 第二浜中丸 佐藤 芳男
 飛鳥支所 第十六裕丸 佐藤 清吉
 飛鳥支所 第二十二富丸 斎藤 一治

全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の平成30年度の水揚高は27億4千万円となり、前年度対比で4億3000万円の減少となりました。主な要因として底曳網漁業をはじめ沿岸漁業が総じて水揚不振となり、定置網漁業・いか釣り漁業も前年を大きく下回りました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、漁場の急激な変化なども相まって漁業経営を一段と厳しくしております。

このような漁業環境にあつて、本年が2年度目となる普及推進全国運動「せよさいで安心」、「ぶらすで万全」をスローガンに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、鶴岡市、遊佐町の小型合併漁業2件の新規加入と漁獲共済で4件の契約割合引き上げがありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は25件と12件減少となり、共済金額においては前年を若干下回ることとなりました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「せよさいと積立ぶらす」にその役割と期待を更に大きくするものと思われ

ます。ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

(平成30年度 20都府県事務所別 実績一覧表)

事務所別引受実績 (単位:百万円)

事務所	年		
	本年	前	年
	共済金額	共済金額	増減
秋田県	820	757	63
山形県	2,144	2,166	△ 22
福島県	4,701	2,943	1,758
茨城県	11,725	7,402	4,323
東京都・本所	3,268	3,004	264
神奈川県	4,892	4,846	46
静岡県	13,800	12,892	908
新潟県	5,775	5,151	624
福井県	5,808	5,679	129
愛知県	5,854	6,324	△ 470
京都府	3,444	3,408	36
大阪・和歌山	9,627	8,680	947
岡山県	2,525	2,530	△ 5
鳥取県	8,897	8,727	170
島根県	11,774	11,497	277
山口県	6,882	6,675	207
高知県	19,173	18,573	600
大分県	17,567	16,798	769
沖縄県	5,627	5,032	595
合計	144,303	133,084	11,219

事務所別支払実績 (単位:百万円)

事務所	年		
	本年	前	年
	共済金	共済金	増減
秋田県	24	21	3
山形県	163	82	81
福島県	145	173	△ 28
茨城県	209	179	30
東京都・本所	20	40	△ 20
神奈川県	192	134	58
静岡県	510	619	△ 109
新潟県	212	116	96
福井県	101	33	68
愛知県	266	258	8
京都府	239	75	164
大阪・和歌山	268	394	△ 126
岡山県	150	79	71
鳥取県	111	112	△ 1
島根県	174	77	97
山口県	251	109	142
高知県	379	133	246
大分県	149	928	△ 779
沖縄県	69	72	△ 3
合計	3,632	3,634	△ 2

積立ぶらす (単位:千円)

事務所	積立ぶらす	
	漁業者積立額	払戻補填金
秋田県	33,410	35,360
山形県	59,090	152,280
福島県	162,150	80,440
茨城県	472,510	271,560
東京都・本所	246,670	79,760
神奈川県	307,380	302,080
静岡県	830,550	941,200
新潟県	322,280	382,720
福井県	212,490	212,160
愛知県	279,530	484,760
京都府	179,010	502,000
大阪・和歌山	361,390	271,960
岡山県	116,140	168,640
鳥取県	363,600	430,040
島根県	491,090	568,080
山口県	270,840	376,440
高知県	459,750	706,880
大分県	707,430	365,040
沖縄県	131,260	182,560
合計	6,006,570	6,513,960

令和元年度 漁業共済優績者表彰

☆漁業連会長賞《5年間無事故者》

さんらいず 白山丸

渡邊 勇悦殿(酒田) 榊原 昭夫殿(由良)

第三善漁丸 幸進丸

早坂 政男殿(酒田) 榊原 英樹殿(由良)

第二政丸 有栄丸

安野 政一殿(由良) 吉岡 正美殿(加茂)

ぎよさい加入で安心経営



つなぐちゃん

全国合同漁業共済組合 役員と運営委員について

6月20日開催の全国合同漁業共済組合第16回通常総代会において、役員改選が行われました。

〈任期〉
令和4年6月の通常総代会終了時まで

〈就任〉
全国合同漁業共済組合
代表監事 本間 昭志

全国合同漁業共済組合 山形県漁業共済事業運営委員

〈運営委員 任期〉
令和4年6月の通常総代会終了時まで

運営委員長 本間 昭志(重任)

運営委員 田村 勇次(重任)

運営委員 伊原 光臣(重任)

運営委員 池田 亀五郎(重任)

運営委員 佐藤 清八郎(重任)

運営委員 斎藤 厚(重任)

運営委員 和田 均(重任)

運営委員 飯塚 厚司(重任)

JF 共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 平成30年度加入状況 (単位：件、万円)

共済種類	実績		保有			
	件数	共済金額	件数	共済金額		
長期共済	チョコー	新規	154	132,850	1,097	703,280
		純新規		83,900		—
	くらし	31	40,520	230	268,950	
	年金	新規	7	28	443	2,482
増額		8	20			
短期	ノリコー	274	104,200	—	—	
	カサイ	409	618,659	—	—	

☆平成30年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)	
満期	120 件 22,975 万円
死亡	9 3,700
入院・通院他	92 792
計	221 27,467

生活総合共済 (くらし)		
満期	18 件	1,914 万円
事故	5	414
計	23	2,328

漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)		
年金	220 件	2,999 万円
死亡	0	0
計	220	2,999

乗組員厚生共済 (ノリコー)		
満期	0 件	0 万円
事故	2	12
計	2	12

火災共済 (カサイ)	
4 件	217 万円

団体信用厚生共済 (ダンシン)	
0 件	0 万円



JF共済は平成三十年度「一人ひとりの笑顔のために：協同の原点 JF共済三か年計画（平成二十九年度～三十一年度）」の中間年度として、JF共済の理念である「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」という全体目標を掲げ取り組んで参りました。

昨年度は「協同の原点やまがた2018 チョココーキャンペーン！」と銘を打ち、共済事業

におけるコンプライアンスと普及推進並びに、各種研修実施等による共済知識の向上と普及推進体制の強化に努めました。また、昨年七月には生命共済チョコーが、がん入院治療保障の新設、女性疾病特約の新設、シニア世代の医療保障の充実などを柱とした医療共済「匠」を改正し、日常保障のさらなる充実を図るなど、新チョコーの普及拡大に努めているところでありま

す。あわせて東北6県合同による「見直そう浜の保障！新チョコーでもっと広めようJF共済！キャンペーン！」も行ない、事業量目標の早期達成に向けたチョコーキャンペーンを展開致しました。

JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は、純新規目標達成には至りませんでした。一定の成果を挙げることが出来ました。建物共済「くらし」

では新規補償目標を達成することが出来ました。

厳しい漁業・事業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、組合員・地域住民の多様なニーズや信頼にお応え出来るよう、JFやまがたと一体となって「ふれあい型」推進に努めて参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「JF共済3か年計画」
運動スローガン
(平成29～31年度)

「一人ひとりの笑顔のために …協同の原点」

浜に笑顔の見張り番

がんばろう漁村 浜の応援団

今こそ示そう「浜の底力」

全国漁業信用基金協会 山形支所

漁業信用基金協会は、全国の19の協会が組織強化を目的に合併し、平成29年4月に「全国漁業信用基金協会」を設立いたしました。また、平成31年4月には山形県を含む18の漁業信用基金協会が全国漁業信用基金協会との二次合併に参加することとなりました。

この二次合併に伴い、山形県漁業信用基金協会は66年の歴史に幕を閉じることになりましたが、今後は「全国漁業信用基金協会山形支所」として、引き続き中小漁業者等の期待に応えられるよう一層の努力を傾注して参ります。

(1) 会員と出資金

会員数は、新規加入1名、債務完了等による脱退6名により、前年度末より5名減少し、本年度末会員数は61名であります。

また、出資金については、前年度末より1,950千円減少し、本年度末出資総額は664,650千円であります。

(2) 保証業務

年間保証額は、17件148,590千円となり、その結果、本年度末保証残高は132件541,131千円となりました。前年度末対比では、件数では12件減少し、保証残高では40,225千円増加しております。

なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりです。

(3) 代位弁済と求償権

本年度は1件1,920千円の代位弁済を実施いたしました。一方、回収にあたっては、極めて厳しい情勢の中で積極的な回収努力と支払協力による回収で17,358千円（目途額6,256千円、達成率277%）の回収を図ることができました。その結果、本年度末求償権残高は、18名133件1,232,048千円となりました。

今後とも、債務者ならびに関係機関のご協力をいただきながら回収を図りたいと考えております。

(4) 収支

収入については、金融市場を取り巻く環境は依然厳しい中、基金等の運用資金を有効活用し、運用益の確保に努めた結果、収益合計19,994千円となりました。

一方、支出については、費用合計15,657千円となり、当期利益4,337千円計上する結果となりました。

(5) 役員（任期：平成31年4月1日～令和2年6月30日）

担当理事 阿部 信彦 担当監事 高橋 和博

(6) 運営委員（任期：平成31年4月1日～令和2年6月30日）

運営委員長 阿部 信彦 運営委員 丸子 武志
 運営委員 竹越 攻征 運営委員 佐藤 啓之
 運営委員 村上 浩 運営委員 伊原 光臣
 運営委員 池田亀五郎 運営委員 和田 均
 運営委員 佐藤清八郎

（金額単位：千円）

区 分	前年度末保証残高		保 証 額		償 還 額		代 弁 額		本年度末保証残高		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
近代化資金	53	382,547	11	135,100	10	57,915	0	0	54	459,732	
一般資金	金融公庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	借替緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他一般資金	91	118,359	6	13,490	18	48,530	1	1,920	78	81,399
	小 計	91	118,359	6	13,490	18	48,530	1	1,920	78	81,399
計	144	500,906	17	148,590	28	106,445	1	1,920	132	541,131	

JFマリンバンク中期事業推進方策における平成30年度優績県域表彰！

去る、令和元年7月16日、ザ・プリンスタワー東京において、第17回JFマリンバンク大会が開催され、中期事業推進方策での重点実施事項における、全国施策として顕著な事業実績を取めた県域に対して表彰が行われました。

山形県漁協は、漁業近代化資金等の新規実行金額、件数が全国上位3県域（H30年度実績）となり、受賞されております。

本受賞を契機に、今後とも「漁業専門金融機関」として、組合員や利用者の目線に立ち、ライフプランに応じた総合的なローン提案など、信頼される協同組合金融を目指して取り組んで参ります。



知事と漁業者関係者との意見交換会開催



7月6日(土)、吉村美栄子山形県知事をお招きし、おいしい魚加工支援ラボ（鶴岡市加茂）を会場に漁業者との意見交換会が行われました。

吉村知事からは、「大きな地震が発生した。人的被害がなかったことは幸いだったが、港に段差ができたほか、多くの被害が出た。他にも本県の水産業には様々な課題がある。国と県と市町が一体となって対策していきたいと考えているので、皆様にもぜひご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。

その後、6月18日に発生した山形県沖地震の鶴岡市管内における被害状況が報告されました。これを受けて山形県漁協本間昭志代表理事組合長は、「鶴岡市鼠ヶ関港500トン岸壁の段差と亀裂をはじめ、様々な被害がでている。漁業者が安全に安心して操業できるよう、改めて被災地域の早期復旧に尽力をお願いしたい。また、県管理の各港湾・漁港施設の環境衛生対策について改善して欲しい。」と意見を述べました。

また、はえ縄漁業を営む本間和憲氏と五十嵐健生氏は「クロマグロ規制に関し、漁獲枠の拡大を国に強く訴えて頂きたい。」と要望を上げました。底曳網漁業協議会会長である飛塚裕実氏からは「底曳網漁業を始め、沿岸漁業を営む漁業者は近年漁獲が安定せず、厳しい経営環境にある。今後不透明であり、日々不安を抱いて経営している。

一定の条件で常時利用可能な経営安定資金の制度を是非創設して頂きたい。」との意見が出されました。他にも県内漁業者が抱える様々な要望が、漁業者代表として出席した参加者から出されました。

最後に、吉村知事が総評として「今日いただいた意見はしっかりと持ち帰り、できる限りの対応をしたい。庄内は美味しい魚が獲れる。水産業振興のためには、ソフトとハード両方の面から検討していかなければならない。また、食育にしっかりと取り組んでいきたいので、水産物の加工に力を入れてほしい。これからも皆さんから生の声を聴き、水産振興していきたい。」と述べ、閉会となりました。

山形県沖地震の被害状況について

去る6月18日22時22分に山形県沖で発生したマグニチュード6.7の地震は、山形県鶴岡市で震度6弱の揺れを観測しました。気象庁は、山形県から石川県にかけての沿岸に津波注意報を発表していましたが、19日1時過ぎに全て解除しました。県内およそ6千戸が停電し住民は不安な夜を過ごしました。漁船と人的被害が少なかったことは何より幸いでしたが、組合員と職員の住宅が被災し、漁協施設も大変大きな被害を受けました。

被害が大きかった鶴岡市の豊浦支所では、2階事務所における屋上壁面の崩壊、荷捌き施設の蛍光灯等の落下や壁面の亀裂と崩落、正面玄関口にも床面の沈降と亀裂が見られました。また、念珠関総括支所では、市場の天井パネル30枚ほどが落下し、壁や床にひび割れが多数ありました。

港湾、漁港の被害状況については、6月22日までに吉村山形県知事を始めとし、地元選出の国会議員、県議会議員の先生方が現場を訪れ被害状況を確認し、港湾、漁港機能の早急な復旧に向けた早期対応を約束されました。



山形県漁協のJFマリンバンクがますます便利になります！


1  **ローンの借り換えができるようになりました。**

金利
元金

金利
元金

2  **マイカーローンの返済シミュレーションがweb上でできるようになりました。**

3 **消費税増税前のお得なキャンペーン！マイカーローンの金利が9月末まで1.95%で格安提供！**




4 **マイカーローンが最大1,000万円まで借入できるようになりました。**

(組合員以外は200万円まで)






5 **マイカーローンの返済が5年から10年までに拡大いたします。**



組合員の要望等にお応えして、山形県漁協の信用事業はより一層便利になりました。今後もサービス向上の都度、漁協ホームページ等でお知らせして参ります。ぜひ、ご利用いただけますようよろしくお願いいたします。



「信用窓口取扱手数料」改定のお知らせ

改定日 **2019年7月16日(火)**

いつも山形県漁協をご利用いただきありがとうございます。この度、当組合ではお客様の信用サービスの維持・向上を図るため2019年7月16日(火)より下記のとおり、各種手数料の改定をいたします。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

各種取扱手数料の改定について (税込、単位:円)

① 振込手数料			
項目	現行	改定後	
他金融機関あて(電信・文書)3万円以上	864	972	
他金融機関あて(電信・文書)3万円未満	648	756	

② 代金取立手数料			
項目	現行	改定後	
特殊手数料(販売代金の小切手持込み)	-	実費	

③ 残高証明書発行手数料			
項目	現行	改定後	
貯金、貸付	324	540	
監査法人向け	-	3,240	

④ 両替手数料			
項目	現行	改定後	
1~50枚	-	無料	
51枚~300枚	-	216	
301枚~500枚	-	324	
501枚~1,000枚	-	540	
1,001枚~2,000枚	-	756	

2,001枚~5,000枚までは、1,000枚に324円を加算

⑤ 硬貨入金			
項目	現行	改定後	
100枚まで	-	無料	
101枚~500枚	-	432	
501枚~1,000枚	-	540	
1,001枚~2,000枚	-	756	

2,001枚以上1,000枚毎に324円を加算

⑥ 貸付事務手数料			
項目	現行	改定後	
一部繰上返済	-	6,480	
全額繰上返済	-	10,800	

なお、記載以外の手数は変更ございません。

【お問い合わせ先】 信用共済課 0234-24-5613 由良総括支所 0235-73-3011 念珠関総括支所 0235-44-2100

第5代「最上丸」の進水式

去る6月7日、本年10月の就航に向けて代船建造が進められている県漁業試験調査船「最上丸」の命名・進水式が宮城県石巻市の造船会社(株)ヤマニシで執り行われ、試験場から乗組員12名を含め14名が参列しました。

この節目に至るまでの経過をふりかえると、平成27年の代船建造チームによる検討が始まりでした。平成30年2月に代船建造検討委員会の建造調査報告書に基づく基本設計が定まった後、5月に造船所が決まり、詳細設計の多岐にわたる打合せを経て、3月の起工式から本格的な建造工事が始まりました。起工式のときには部材でしかなかったものが船体の各部が組み合わされ、ようやく一隻の船として姿を現したのです。式典の前には、船上に全員で上がりました。大型化した船の大きさを肌で感じるとともに、この巨費を投じた新船を運用する責務に身の引き締まる思いがしました。進水式の後、第5代「最上丸」は、漁撈・調査研究設備の取付け、内装工事などが行われた後、9月下旬に乗組員全員で酒田港に回航します。調査航海は10月の海洋観測から始まります。新船の性能や調査については、機会を改めて紹介いたします。



山形県水産試験場 海洋資源調査部長 高澤 俊秀

水産加工品販売に向けたサポート研修会 開催！！

7月9日(火)、鶴岡市由良コミュニティーセンターにおいて、女性部及び関係者35名の方々が集い、「水産加工品販売に向けたサポート研修会」を開催しました。

研修の内容は、これから食品を調製、販売するうえで重要な知識となってくる、食品衛生管理と原価管理を2部構成で学びました。

第一部は、山形県庄内総合支庁生活衛生課上野主任獣医師から、「食品加工に係る衛生管理について」という演題で講演いただき、細菌性食中毒等の発生状況、防止のための注意点等説明していただきました。菌が増えないうちの素早い調理、適正温度での保管が重要であることを改めて学ぶことが出来ました。

第二部では、山形県よろず支援拠点の本間隆雄氏から、「なんぼで売ったらいいなや?～原価を考え、しっかりと儲けるために～」という演題で講演いただきました。商売の目的をしっかりと持つこと等、わかりやすい言葉で重要なことを説明していただきました。簡単な公式を使った売価の計算方法等、これから商売をするうえで大切となることを学ぶことが出来ました。

現在、加工品の販売を行っている方には、改めて衛生管理と利益について、これから加工品を製造・販売を始めたいと考えている方には、儲けるためにはどのような魚を使ったらいいか、安全安心な食品を製造するにはどうしたらよいか、学び、考える良い機会になったのではないかと思います。

浜のかあちゃんが作るおいしい水産加工品が多くの消費者の手に取られるよう、女性部が加工・販売に多くチャレンジすることを期待します。

山形県庄内総合支庁水産振興課 水産振興主査 鈴木 まどか



漁船リサイクルコーナー ※各種装備充実しております。興味のある方は枠内の連絡先までご連絡ください。

価格	応談	船質	FRP
船名	豊漁丸(長さ11.30m、幅2.84m、深さ0.80m)		
漁業種類	小型いか釣、延縄、刺網漁業		
進水年月日	昭和50年5月1日	トン数	4.9トン
主機	FRP製 船外機 ジーゼル 302kw ヤンマー(株)6cxbp-GT(平成28年8月製造)		
各種装備	いか釣機8基、ラインホーラー2基(はえ縄用、餌取り用)		
造船所	東日本化工(株)	その他	付属漁具については要応談
連絡先	山形県漁業協同組合 さかた総合市場：0234-24-5614		



(普通厚生共済)

7月1日、制度改正で
さらにパワーアップ!!



① 終身医療共済の払込終了年齢の選択制の導入

終身医療共済について、「80歳終了」と「終身共済の払込終了年齢」のいずれかを選択できるようになります。

② 生活習慣病特約・女性疾病入院特約の付帯制限の緩和

(1) 高血圧症により投薬中

※医療共済は、年齢・血圧値など一定の条件を満たす場合加入できます。

【改正前】

※生活習慣病特約・女性疾病入院特約を付帯することができませんでした。



【改正後】

医療共済に加入できる方は、生活習慣病・女性疾病入院特約の付帯が可能となります。

(2) 腰部捻挫や中耳炎など

※生活習慣病と因果関係のない所定の傷病が対象です。ほかにバセドウ病、帝王切開

【改正前】



※特別支払条件特約が付帯される契約は、生活習慣病特約・女性疾病入院特約を付帯することができませんでした。

【改正後】

生活習慣病と因果関係のない所定の傷病は、特別支払条件特約が付帯される契約でも、生活習慣病特約・女性疾病入院特約の付帯が可能となります。

※特別支払条件特約が付帯された生活習慣病特約・女性疾病入院特約は、不払期間中において入院・手術等をした場合、医療共済と同様に共済金は支払われません。

チョコーキャンペーン! 山形県漁協 庄内浜 海の幸セットプレゼント!!

期間：2019年7月1日から11月30日まで
対象：期間中、チョコー(生命共済)加入者に「庄内浜海の幸セット」を進呈!



※写真はイメージです。

対象要件 新規・満期更新・転換契約にて、病気死亡保障500万円以上もしくは、医療共済保障(入院保障特約) 1,000円以上付帯されているものが対象です。

上記は保障の概要等を説明したものです。ご契約の際は、重要な事項が記載されている「契約概要」「注意喚起情報」および「ご契約のしおり・共済約款」を必ずお読み下さい。詳しくは山形県漁業協同組合、JF共水連東北事業本部山形支店までお問い合わせ下さい。

水 揚 情 報

令和元年 6月30日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
5月末迄水揚累計		261,785	14,308	7,038	61,976	27,573	46,183	28,562	9,366	66,779
月間水揚	県内船水揚	148,689	10,232	8,582	29,183	12,004	27,019	14,052	5,215	42,402
	県外船水揚	8,211	0	0	3,566	0	0	0	0	4,645
	合 計	156,900	10,232	8,582	32,749	12,004	27,019	14,052	5,215	47,047
前年同月水揚		253,406	8,312	6,915	121,003	14,346	27,418	14,989	2,265	58,158
本年度水揚	県内船水揚	407,112	24,540	15,620	89,588	39,577	73,202	42,614	14,581	107,390
	県外船水揚	11,573	0	0	5,137	0	0	0	0	6,436
	合 計	418,685	24,540	15,620	94,725	39,577	73,202	42,614	14,581	113,826
前年度水揚累計		528,648	20,294	15,171	194,806	46,224	71,444	42,422	10,111	128,176
増 減		-109,963	4,246	449	-100,081	-6,647	1,758	192	4,470	-14,350
本年度水揚計画		2,720,000	95,500	79,000	1,428,000	128,000	278,000	166,000	41,500	504,000
達 成 率		15.3%	25.6%	19.7%	6.6%	30.9%	26.3%	25.6%	35.1%	22.5%

今あがっている魚

- 6月のベストテン -

前年対比 増 ↗ 減 ↘ 変らず →

水 揚 金 額 (千円)				漁 獲 量 (kg)					
1	するめいか	26,172		↘	1	するめいか		79,213	↘
2	まぐろ類	18,865		↗	2	ほ っ け		52,727	↗
3	た い	18,492		↘	3	べにずわい		49,770	↘
4	ほっこくあかえび	9,195		↘	4	た い		36,693	↗
5	口 細	7,676		↘	5	あ じ		15,514	↗
6	か き 貝	7,603		↗	6	まぐろ類		15,389	↗
7	べにずわい	6,968		↘	7	ぶり・いなだ		13,909	↘
8	ほ っ け	5,303		↗	8	か き 貝		12,288	↗
9	つ ば い	4,375		↗	9	さ ぎ え		10,937	↗
10	さ ぎ え	4,240		↗	10	口 細		9,161	↘

月間MVP

月間MVP

●「すいさん山形」は今後も皆様にご喜んで頂ける紙面作りを心掛けていきますのでよろしくお願ひします。

●さて、山形県が平成28年3月に公表した、山形県津波浸水想定・被害想定調査結果によると、最大クラスの津波を引き起こす可能性のある断層は山形県沖に2つあり、地震の規模が大きい場合には10〜15mの津波が発生すると想定されています。いつか大きな津波が来る可能性があります。ことを忘れずに、防災意識を高く持つていきましょう。

●6月18日には、山形県沖を震源地とする震度6の大地震が発生し、気象庁から津波注意報も出されました。沿岸部を中心に避難された方々は不安な一夜を過ごされたことと思います。また、漁港施設や住宅等に被害があったものの、人的被害が最小限ですんだことは幸いでした。

●中型イカ釣り船団の出港式が6月9日、酒田港袖岡埠頭にて行われました。今年はいかのまち酒田をPRするため、「酒田船凍いか」が商標登録されました。海洋環境の変化や外国漁船の違法操業等の課題もありますが、イカのまち酒田を盛り上げるためにも各船の航海安全と大漁をご祈念申し上げます。



鈴木重作氏 黄綬褒章受章

去る5月20日、2019年春の褒章受章者が公表され、鈴木重作氏が黄綬褒章を受章されました。

鈴木氏は高校を卒業後、まぐろ・いか釣兼業船に就業、昭和56年からは家業の漁業に従事し、現在は平成28年に新船建造した第八長寿丸にてはえ縄漁業を営んでおります。人格円満にして温厚誠実、加えて見識に優れ、旺盛な研究心と卓越した行動力を遺憾なく発揮し、平成19年に山形県トラフグ研究会、平成22年には庄内おぼこサワラブランド推進協議会の初代会長として、若手漁業者の指導・育成に取り組んできました。また、関係機関と連携し、先進的技術の研究・開発を手掛け、県産魚の評価向上、販路開拓等に尽力されております。

褒章伝達式は5月30日に農林水産省講堂で行われ、濱村農林水産大臣政務官より褒章と章記を受取った後、皇居で天皇陛下に拝謁されました。

この度の受章を心よりお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。



目指せ水揚げ 日本一!!



いか釣り船団 出航式

6月9日(日)、酒田市主催の「いか釣り船団出航式」が行われ、多くの人出でにぎわいました。

船団による酒田港への水揚げは港全体の約8割を占めます。浜に活気を取り戻そうと半年をかけ北海道沖へ北上しながら操業します。

「若者たちも仲間に加わり、大海原に乗り出してほしい」出港式で語った船団長であり第38正徳丸漁撈長、佐藤長悦郎さんの言葉がとても印象的でした。

気持ちも新たに真白く塗り直した船体に5色のテープをまとった船団は、家族や市民に見送られながら、水揚げ日本一をめざして勇敢に出航していきました。大漁満足と航海安全を心から祈願します。



♪夏休み子ども科学教室の参加者募集♪



～イカの体の研究と加工体験～



イカの漁業・生態についての講演とイカの解剖及び加工体験を行います。

- 日時/8月2日(金) 午前9時～正午
- 場所/水産試験場
- 対象/小学3～6年生と保護者
- 定員/先着10組
- 費用/500円(子ども一人あたり)
- 問い合わせ/水産試験場 ☎0235-33-4382